

<報道発表資料>

令和7年3月21日

京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化芸術企画課

## 元楽只小学校の空き教室を活用した制作室 (HAPSスタジオ) を使用する若手芸術家を決定

東山 アーティスツ・プレイスメント・サービス (HAPS) [事務局：一般社団法人 HAPS]では、元楽只小学校（北区）を活用した複合施設（愛称：ふれあい共生館）において、美術系の若手芸術家に制作スタジオを提供しており、全6室のスタジオのうち1室の使用者を公募していました。

この度、HAPSにおいて審査を行い、スタジオを使用する若手芸術家1組を選定しました。



### 【使用の概要】

- 所在地：〒603-8226 京都市北区紫野西舟岡町2 ふれあい共生館北館3階
- 使用教室：普通教室（約65㎡）1室
- 使用期間：令和7年4月1日～令和10年3月31日
- 使用者：小林 颯（こばやし はやて）

● 使用者プロフィール：



1995年北海道生まれ。東京藝術大学大学院映像研究科メディア映像専攻修了。2020年から2024年まで、江副記念リクルート財団 スカラシップを経てドイツ・ベルリンへ渡独。2024年にベルリン芸術大学大学院アートアンドメディア科を修了。装置と映像を通じて、エクソフォニー（「母語の外にある状態一般」の意）の新たな語りの形を再考している。近作では、翻訳とアイデンティティの観点から、アジア系移民のアイデンティティの流動性を主題に扱う。主な個展に「ポリパロール」（アートセンターBUG、東京、2024年）など。Forbes 30 Under 30 Asia 2022 The Arts 選出。

<東山 アーティスツ・プレイスメント・サービス（HAPS）について>

若いアーティストたちが京都のまちなかに居住し、活動し続けることができる環境を整え、彼らの新しい創作の活力を、まちの活力につなげていくことを目指し、平成23年9月にHAPS実行委員会を設立、31年4月に事務局を法人化。

若手芸術家等からの様々な相談に対応する総合相談窓口の運営、芸術家に適した空き家の紹介、閉校施設等の活用による制作場所の提供、専門家のネットワークによる発表活動の支援等、若手芸術家等が京都のまちなかに居住し、活動し続けることができる環境を整え、彼らの新しい創作の活力を、まちの活力に繋げる取組を行う。

**HAPS**  
東山 アーティスツ・プレイスメント・サービス

<HAPS制作スタジオについて>

京都を拠点に活動するアーティストのために、元楽只小学校跡地を活用した複合施設（愛称：ふれあい共生館）の教室を利用した制作スタジオ6室を提供、運営している。

スタジオ | 普通教室（約65㎡）5室 / 大型室1室（約88㎡）

所在地 | 〒603-8226 京都市北区紫野西舟岡町2 ふれあい共生館北館2、3階

現使用者（継続） | おおしまたくろう、澤田華、HABURI、村上美樹、八幡亜樹（令和7年3月末まで）、陸瑋妮(LU WEINI)+上田佳奈+六根由里香

<お問合せ先>

本事業に関するお問合せ先

一般社団法人 HAPS（担当：沢田）

電話：075-525-7525

メール：[info@haps-kyoto.com](mailto:info@haps-kyoto.com)

報道機関からのお問合せ先

京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化芸術企画課

電話：075-222-3119